運営委 57-1

公益財団法人 日本環境協会
エコマーク事務局

2025 年度エコマーク事業収支決算報告

公益財団法人 日本環境協会
エコマーク事務局

2025 年度のエコマーク事業に関する収支決算を以下のとおり報告します（次頁に概要説明）。

2025 年度エコマーク事業収支決算報告書
（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）

（単位：千円）

科目	2025 年度 予算額 A	2025 年度 決算額 B	差異 B-A	（参考） 2024 年度 決算額
Ⅰ. 収入の部	千円	千円	千円	千円
1. エコマーク事業収入	273,168	286,791	13,623	261,032
収入合計	273,168	286,791	13,623	261,032
Ⅱ. 支出の部				
1. エコマーク事業費	72,589	46,493	△26,096	47,725
認定事業費	16,400	11,474	△4,926	25,980
広報活動費	11,350	6,750	△4,600	10,423
調査研究費	14,450	2,715	△11,735	8,740
国際協力費	3,800	2,300	△1,500	2,582
その他事業費	26,589	23,254	△3,335	－
2. 管理費	196,121	198,578	2,457	199,540
人件費	118,834	120,879	2,045	107,490
事務費（賃借料等の協会共通経費含む）	77,287	77,699	412	92,050
支出合計	268,710	245,071	△23,639	247,265
収支差額（収入－支出）	4,458	41,720	37,262	13,767

1. 2025 年度エコマーク事業計画・予算の背景と概況

2025 年度の事業計画・予算は、①再生／バイオマスプラスチックならびにケミカルリサイクルによる廃プラスチックなどの循環の拡大に資する商品類型化、②プラスチック資源循環に係る認証の展開、③EC サイト連携（サービス分野を含む）の認知度向上、④認証サービスの品質向上、⑤欧州の最新動向の調査と影響・対応の検討に注力するとともに、認定後の現地監査および基準適合試験などに取り組み、信頼性の高い環境情報の提供を進めた。

2. 収入

1）エコマーク事業収入

2025 年度のエコマーク事業収入は使用料および審査料収入合計で 286,791 千円で、予算に対して 13,623 千円上回った。

3. 支出

1）エコマーク事業費

2025 年度のエコマーク事業費は 46,493 千円で、予算に対して 26,096 千円下回った。

<u>費目別の支出概況</u>

（1） 認定事業費（基準策定委員会運営費、システム保守・管理費など）

・認定事業費の支出は対前年 14,506 千円減で、予算に対して 4,926 千円下回った。主に委員会運営費、システム保守管理費、商標権管理費などの支出が当初予算を下回ったことによる。

（2） 広報活動費（ウェブサイト管理費、各種イベント・フェア出展費、表彰・講演会費、広告出稿費など）

・広報活動費の支出は対前年 3,673 千円減で、予算に対して 4,600 千円下回った。業界フェア・イベント出展費が当初予算を大きく下回ったことや、対面形式のイベント・セミナー関連費、パンフレット制作費、ウェブサイト改善・管理費および広告出稿費などで業務効率化が進み支出を抑制できたことによる。

（3） 調査研究費（信頼性確保費（現地監査、基準適合試験など）、新規商品類型化等に係る調査費、ISO 審査員登録費など）

・調査研究費の支出は対前年 6,025 千円減で、予算に対して 11,735 千円下回った。主に「環境情報提供強化」調査費で予定していた調査 11,000 千円程度を、次年度に先送りしたことによる。

（4） 国際協力費（GEN 関連費、海外ラベル協力活動費、資料英訳費）

・国際協力費の支出は対前年 282 千円減で、予算に対して 1,500 千円下回った。ドイツ・ブルーエンジェル「画像機器」基準改定の公聴会への参加が対面からオンライン

に変更となったほか、国際会議のオンライン開催や翻訳の機械化が進み、GEN 関連活動費、海外ラベル等協力活動費および資料英訳費が当初予算を下回ったことによる。

2）支出合計

エコマーク事業費に管理費を含めた支出合計は、245,071 千円で、予算に対して23,639 千円下回った。

4. 収支差額など

2025 年度のエコマーク事業に関する収支差額は 41,720 千円であった。
本収支差額は当協会へ繰入れた。

以上